

「東北ニュービジネス大賞」表彰制度
第30回 記念

特別功労大賞

受賞者のご紹介

2024年（令和6年）1月26日（金）

主催

一般社団法人 東北ニュービジネス協議会

「特別功労大賞」とは

「東北ニュービジネス大賞」表彰制度は、1993年の第1回から今年で30周年（30回目）を迎えます。これを記念し「東北ニュービジネス大賞」と別枠で、今年度限りの「特別功労大賞」を創設しました。

「特別功労大賞」は、日本経済が高度成長・安定成長期から一気に1990年代の「平成大不況」に突入、2000年代の「リーマンショック」、そして、2011年の「東日本大震災」など、30年間にもおよぶ低成長期（失われた30年）の中にありながらも、優れた経営手腕・ビジョンを持って、着実に企業の成長を導かれ、東北各県の産業界で中心的（ランドマーク的）役割を担っておられる経営者に対し、その功績を称え、益々の発展を祈念して表彰するものです。

このことにより、「東北ニュービジネス大賞」受賞者をはじめ、今後の成長が期待されるスタートアップ企業などが「特別功労大賞」の受賞者をモデルに“目標とし・つながる”ことで東北の新産業創出が一層加速することを期待するものです。

【受賞者の皆様】

青森県	株式会社 オカムラ食品工業	代表取締役社長兼CEO	岡村 恒一 氏
岩手県	株式会社 シリウス	代表取締役	佐藤 幸夫 氏
秋田県	東光鉄工 株式会社	代表取締役会長（CEO）	虻川 東雄 氏
山形県	株式会社 でん六	代表取締役社長	鈴木 隆一 氏
宮城県	東洋ワークグループ 株式会社	代表取締役会長	須佐 尚康 氏
福島県	東洋システム 株式会社	代表取締役	庄司 秀樹 氏

【青森県】

会社名		代表者 役職・氏名（敬称略）		
株式会社 オカムラ食品工業		代表取締役社長 兼 CEO 岡村 恒一		
本社所在地		URL	https://www.okamurashokuhin.co.jp/	
〒030-0912 青森県青森市八重田1-6-11 電話 017-736-7777		設 立	1971年（昭和46年）8月	
		資本金	906百万円	
		従業員数	84名（連結 830名）	
事業内容	サーモンの養殖、水産品の加工・販売、水産物の卸			
企業理念	海の恵みを絶やすことなく世界中の人々に届け続ける！			

～日本の水産業の「成長産業化」を実現する～

日本の水産業は衰退産業といわれる中、海外においては水産業は成長産業であるとの考えのもと、水産業の成長を阻害する要因「供給の不安定性」と「消費の減少」をASC（水産養殖管理協議会）等の持続可能性を担保した認証により、「日本水産業の成長産業化を実現する」という強い志を持って事業を展開し、大規模養殖事業により雇用を創出するなど地域社会に貢献している。

- ・ 2015年 国内初の大規模生食用サーモン養殖を青森県にてスタート、毎年生産数量を拡大し品質改善を行う。
- ・ 50年に亘る水産加工業で培った安全安心の品質管理や生産ノウハウをベトナム、ミャンマーの工場に移植し日本人社員とローカルスタッフのチーム力で日本品質を実現。2019年はばたく中小企業小規模事業者300社。
- ・ 原料調達、養殖から始まりお客様のニーズに素早く対応できるグローバルな加工生産体制「垂直統合型ビジネスモデル」は持続可能な水産業の成長産業化を達成する上で大きな強み。連結売上高は 28,939百万円（2023年6月期）に上る。

★グループ会社（連結子会社）国内1社、海外8社（デンマーク等）

★2023年9月27日に IPO上場「東証スタンダード」



【岩手県】

会社名		代表者 役職・氏名（敬称略）	
株式会社 シリウス		代表取締役 佐藤 幸夫	
本社所在地		URL	http://www.kk-sirius.co.jp/
〒020-0824 岩手県盛岡市東安庭2-12-15 電話 019-604-6860		設 立	1994年（平成6年）12月
		資本金	100百万円
		従業員数	145名（グループ全体の正社員）
事業内容	木造住宅の設計施工販売、リフォーム事業、太陽光発電による売電事業		
企業理念	「安心安全の家づくり」と「社員の物心両面の幸せ」を最大限追及！		



～岩手県持ち家着工ランキング 18年連続 着工棟数 1位！～

今から30年前の1994年に縁もゆかりもない盛岡市に移り住み孤軍奮闘し創業した。「安心安全の家づくり」を追求し、よい住宅会社の条件を本社は地元に、20年以上の実績、社員50名以上の3つでアフターフォロー体制を確立。シリウスグループの複数ブランドで「良質適価」住宅を提供し、施工は全て地元の協力業者をお願いし「地域密着」を重視してきた。18年連続第1位は社員の誇りと達成意識として定着しており、契約の多くはお客様からの紹介である。リフォーム部門も強化し着工数年間400棟と20年連続1位を目指す。「社員の物心両面の幸せ」では、新卒採用時に支度金最大20万円、NISA積立て1割補助、12年前から少子化対策として第2子50万円、第3子100万円を支給。社員の多くは結婚し持ち家で社員の子供も30人以上増えた。

★次代を担う子ども達へ ①「防災を学ぶ世界地図」を配布（岩手県内小学校5年生全員へ） ②矢巾町に「本の寄贈」を10年以上続けている。本には未来へのメッセージが込められているとの思いから、故郷 湯上市の母校にも永く寄贈している。

★スポーツ振興部門に、スピードスケート、スケートショートトラックの選手2名を在籍させ支援。 ★趣味は社交ダンス



【秋田県】

会社名	代表者 役職・氏名（敬称略）	
東光鉄工 株式会社	代表取締役会長(CEO) 虻川 東雄	
本社所在地	URL	https://www.toko-tekko.co.jp/
〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字稻荷山下19-1 電話 0186-48-3234	設 立	1973年（昭和48年）7月
	資本金	85百万円
	従業員数	270名
事業内容	各種構造物の設計製作等	
企業理念	創造と挑戦は続く！	



「人の運に恵まれて」～出会った人たちは、全てわが社の営業マン！～

1963年 大館鹿角地域で「釈迦内鉱山」が開山。坑道の崩落を防ぐため「古レールでアーチ枠」を作る技術力は「曲げの東光」と称えられ第一次成長期を支えた。しかし「ヤマの命は有限なり」と黄金の一言を受け、鉄鋼加工の仕事を受注する全国区での会社を目指す。1968年の大館大火を契機に鉄骨工事に本格進出、社名を「東光鉄工」に変更する。その後も自社ブランド「東光ドーム」を開発し、六ヶ所村や南極、御嶽山など国内外でドームを建設。東日本大震災の復興も支えた。ソフトウェア開発に進出以降も、ドローン活用事業、防災シェルター事業、そして洋上風力用クレーン事業へと「創造と挑戦」は続く！ 社内の「ライセンス制度」により資格取得数は県内トップレベル。

- ・本社所在地の大館は戦争で疎開した地。東京の町工場へ就職後、1962年「黒鉱ブーム」に湧く大館に帰り専務に就任する。
- ・毎年3月に1年の経営方針についての「発表会」を開催し「全員参加の経営」「有言実行」を実現するイベントとしている。
- ・1938年創業から80周年を記念し「東光虻川ものづくり財団」を設立。ニーズに対応した学術研究や新事業を支援している。

★常に思う言葉は「人生には総量がある」「有言実行」「ライセンス主義」「give and give」そして「創造と挑戦」と話す。



【山形県】

会社名	代表者 役職・氏名 (敬称略)	
株式会社 でん六	代表取締役社長 鈴木 隆一	
本社所在地	URL	http://www.denroku.co.jp/
〒990-8506 山形県山形市清住町3-2-45 電話 023-644-4422	設 立	1953年（昭和28年）5月
	資本金	425百万円
	従業員数	891名（うち女性421名）
事業内容	菓子の製造・販売	
企業理念	豆を究め、喜びを創る！	



～ 「おいしい、良質な、安全な」商品づくりによって、社会に貢献する～
ピーナッツのおいしさを地球規模で追及し、その積極的な姿勢が業界のリーダーとして高い評価を得ており、今年は1924（大正13）年の創業から100年の節目を迎える。約1世紀となるでん六の歴史に「難所にこそ好機あり」という考えのもと 地元山形県が抱える人口減少や地球規模での温暖化等に対し「社会と地球の未来を変えよう」と使命感を持ち、若い世代の自主性・積極性を育て、社員と一丸となり「でん六 SDGs」宣言を行った。「喜働※」を促す運営により持続可能性を高める活動を展開している。

※喜働とは「うれしい、ありがたい、お役に立ちたい」という心で喜んで働くこと

- ・「節分」の伝統文化を子ども達に知ってもらう企画活動、県内大学との共同研究、豆の健康機能性を情報発信。
- ・山形県金山町と「地域農業振興協定」を締結。落花生農家と月例の栽培会議を開催して、栽培・商品化を支援。
- ・「蔵王の森工場」排水処理リサイクルによる肥料づくりや緑化への取り組みで 地域農業の持続可能性を高める。
- ・「山形花笠まつり」の協賛やJリーグ「モンテディオ山形」の冠試合など、ふるさと愛と誇りを育む活動を展開。



【宮城県】

会社名		代表者 役職・氏名（敬称略）		
東洋ワークグループ 株式会社		代表取締役会長 須佐 尚康		
本社所在地		URL	https://www.toyowork-group.jp/	
〒990-8506 宮城県仙台市青葉区国分町1-7-18 東洋ワークビル5F 電話 022-263-2000		設 立	1990年（平成2年）10月	
		資本金	90百万円	
		従業員数	8,500名（派遣従業員・海外含む）	
事業内容	人材ビジネス・総合警備・障がい福祉 事業			
企業理念	ビジネスを開発し働く人の幸福を実現する			

「Business Developer」 ～“Well-being”を実現するビジネス開発～

「東北から世界へ、価値あるWorkを創造する！」を掲げるToYo Work Groupは、HR（人材ビジネス事業）、SEC（総合警備事業）、SBE（障がい福祉事業）の3つの事業セグメントを展開。HRセグメントでは東北地方の人材ビジネス業界のパイオニアとして、派遣、請負、人材紹介、国際事業などを通じて人と組織にかかわる多様なサービスを提供。アジア圏での人材採用も展開している。SECセグメントでは、東北最大級の警備員数と教育システム等を強みに日本の安心・安全を守る。SBEセグメントでは、洗浄事業を通して障がい者へ働く機会を創出し、グループホームや整骨院の運営、訪問医療マッサージ事業も開始。今後も高付加価値事業への変革と、それにかかわる働く人の幸福「Well-being」を追求する。

- ・ TWGのルーツは福島県奥会津の金山町。「故郷の人口より多くの社員を雇用する会社を創る」と決意し、会長の須佐尚康氏が1976年に創業。
- ・ 国内7社と海外2社の事業展開。インドネシアの法人2社では、人材採用・海外進出・マーケティングをワンストップでサポートしている。



【福島県】

会社名		代表者 役職・氏名（敬称略）		
東洋システム 株式会社		代表取締役 庄司 秀樹		
本社所在地		URL	https://toyo-system.co.jp/	
〒972-8316 福島県いわき市常磐西郷町銭田106-1 電話 0246-72-2151		設 立	1989年（平成元年）11月	
		資本金	100百万円	
		従業員数	130名	
事業内容	二次電池の研究開発に欠かせない試験評価装置の設計・製造・販売			
企業理念	エネルギー産業における技術開発で世界に貢献する！			
「BATTERY SOLUTION」～バッテリーテクノロジーで、もっと自由な未来へ～ 「電池を元気にする会社」として、スマートホンや電気自動車などに搭載されている二次電池の研究開発に欠かせない電池の試験評価装置を設計から販売までトータルで行い「二次電池の評価装置業界で国内No1のシェア」を誇る。国内外に拠点を展開し、世界レベルのニーズに応えている。また「脱炭素を先導する人材の育成」をリードし、15事業社で共同事業体「いわきCN（カーボンニュートラル）人材育成コンソーシアム※」を設立。福島県・いわき市や産学官が連携し”脱炭素社会の担い手づくり”を押し進めている。 ・ 1989年 掌に収まる電話機があれば世界はさらに広がる。その思いから検査装置開発を創業。バッテリーの小型化へ。 ・ 未来へのきっかけとなるものを今の子ども達に与えたいと「STEAM教育」（小・中・高生向け体験学習）を継続実施。 ★1997年「東北ニュービジネス大賞」受賞。2010年「EYアントレプレナー世界大会」へ東北初の日本代表として参加。 ★2014年「藍綬褒章」受章。会社として「紺綬褒章」を8回受章。※ 2月16日14時～「公開シンポジウム」いわき市で開催予定				  

